

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	本授業は中国語の聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。また、4技能を総合的に育成するために、以下のように指導を充実する。 ① 自らの考えなどを相手に伝えるための「発信力」やコミュニケーションの中で基本的な語彙や文構造に重点を置く ② 「聞くこと、読むこと」を通じて得た知識等について学生自らの体験や考えなどと結び付けさせる ③ 本文を導入する際に、挿絵や写真を用いたオーラルイントロダクションを聞かせ、要約文や感想を書かせるなど、本文の内容を再確認させる		
授業計画	1	第一課 読む中国語① 学習課題 復習：中国語の発音 予習：ピンインと四声	
	2	① 唐詩『静夜思』を読む ② 詩歌の意味を理解する 第二課 聞く中国語① 学習課題 復習：第一課の主要内容 予習：物の見え方と数え方	
	3	① 数の読み方 ② 数量の表現 ③ 指示と数量 ④ 発音の特徴の説明と答え合わせ 第三課 話す中国語① 学習課題 復習：第二課の主要内容 予習：挨拶語	
	4	① 初対面の挨拶 ② 名刺の交換 ③ 常用フレーズ 20 第四課 書く中国語① 学習課題 復習：第三課の主要内容 予習：文の基本的枠組み	
	5	① 一語文、一句文 ② 基本構文と主題化 ③ 時間（時点と時間量） 第五課 読む中国語② 学習課題 復習：第四課の主要内容 予習：早口言葉	
	6	① 四と十の発音練習 ② SとSH、CとCH、ZとZHの違い ③ 早口言葉 第六課 聞く中国語② 学習課題 復習：第五課の主要内容 予習：中国の歌	
	7	① 歌詞を理解する ② 歌うときの発音の特徴 ③ 歌を聴きながら、声調をつける 第七課 話す中国語② 学習課題 復習：第六課の主要内容 予習：尋ねるフレーズ	
	8	① 道を尋ねる ② 電話で用件を聞く ③ 人の名前、年齢などを聞く ④ 常用フレーズ 20 第八課 書く中国語② 学習課題 復習：第七課の主要内容 予習：自分の態度・相手への働きかけ	
	9	① 場所と存在・移動 ② 疑問・否定 ③ 願望・必要 第九課 読む中国語③ 学習課題 復習：第八課の主要内容 予習：中国の新聞記事	

	①新聞記事の内容を理解する ②長文を読む時の注意点 ③抑揚、リズムとアクセント 第十課 聞く中国語③ 学習課題 復習：第九課の主要内容 予習：中国語検定について調べる ①中国語検定を紹介する ②リスニング問題練習 ③答え合わせ 第十一課 話す中国語③ 学習課題 復習：第十課の主要内容 予習：メニューの見方 ①料理の注文 ②メニューの見方 ③勘定の言い方 ④常用フレーズ20 第十二課 書く中国語③ 学習課題 復習：第十一課の主要内容 予習：機能文の構造 ①命令・依頼・可能 ②推定・伝聞 第十三課 聞く中国語④ 学習課題 復習：第十二課の主要内容 予習：李白の詩歌 ① 李白の『廬山の滝を望む』を聞く ② 詩歌の意味を理解する ③ 詩歌を聞き取る 第十四課 話す中国語④ 学習課題 復習：第十三課の主要内容 予習：中国の交通機関 ① バスの乗り方 ② 列車の切符の買い方 ③ 飛行機のチケットの買い方 ④ 会話の練習 第十五課 書く中国語④ 学習課題 復習：第十四課の主要内容 予習：事物の性質・様態 ①数量表現 ②修飾語
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 正確な中国語の発音ができる。 ② 正しいアクセントで短文を読むことができる。 ③ 日常会話力を身につける。 ④ ピンインなしで中国語を読むことができる。 ⑤ HSK中国語検定1級にチャレンジできる。
	定期試験の成績を60%とし口頭・筆記試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。筆記試験は文法と翻訳を中心に問題を出す。
	授業態度、口頭練習の積極性30%、定期試験（筆記）30%、定期試験（口頭）40%。
教科書・参考書	テキスト：特に指定しない。プリント配布。 参考書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	
履修上の注意	特に基礎となる発音練習を真面目にすること。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	一般的に、外国語の学習には「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能が大切、とされている。それぞれの能力は独立しつつも、お互いに深く関係しており、この四つの力をバランスよく伸ばすことが大切とされている。ぜひ、積極的に語学力を身につけてください。